

株式会社日恵製作所

2015年度環境活動レポート

(対象期間： 2015年3月21日 ～ 2016年3月20日)



エコアクション21
認証・登録番号0010581
大阪本社

作成日： 2016年4月28日

□ごあいさつ

当社は1981年の設立以来培ってきた知識・経験に、日々進化し続けるIT技術・情報を取り入れて「小さな技術革新」の積み重ねによってより高品質で付加価値の高い「モノづくり」を目指しております。

高まる地球環境保全の重要性も深く理解し、地下資源の節約に貢献できる長寿命製品の開発により一層の努力をすると共に、資源の節約にも積極的に取り組み、皆様にご満足いただける会社を目指す所存でございます。

株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵

環境方針

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、電子機器等の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組み、地域社会の発展に貢献すると同時に社会から一層信頼される企業を目指します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
2. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
3. 廃棄物の削減及び再生利用に取り組みます
4. 水道水の節約に取り組みます
5. 化学物質の適正管理に取り組みます
6. 環境に配慮した製品の開発・販売促進に取り組みます
7. 環境に配慮した資材の購入・調達を推進します

制定日：2014年6月20日

代表取締役 恩田 恵

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵
- (2) 所在地
本 社 大阪府門真市桑才新町33-9
東京営業所 東京都江東区富岡2-6-6
名古屋営業所 愛知県名古屋市北区若葉通3-19 谷口ビル1F
福岡営業所 福岡県福岡市博多区豊2-4-1
仙台営業所 宮城県仙台市若林区荒井字丑の頭23-3
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 第一営業部 次長 勝部 俊行 TEL:06-6908-6930
担当者 総務課 森 繁 TEL:06-6908-6930
- (4) 事業内容
電子応用機器製造販売
主要製品:LED表示灯・アミューズメント機器
- (5) 事業の規模
製品出荷額 15 億円 (2015年度)

	本社	東京(営)	名古屋(営)	福岡(営)	仙台(営)	合計
従業員	62	7	3	3	1	76
延べ床面積	2,595	338	46	140	40	3,159

- (6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録事業者名: 株式会社日恵製作所 本社
対象事業所: 本社
- 対象外: 東京・名古屋・
福岡・仙台営業所 2016年に拡大予定
- 活動: 電子応用機器製造販売

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		128,311	105,699
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		87,082	78,547
燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		36,037	27,152
廃棄物排出量	トン		11,483	11,157
一般廃棄物排出量	トン		9,963	9,687
産業廃棄物排出量	トン		1,520	1,470
総排水量	m ³		1,000	957

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.514 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2015年		2016年	2017年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	87,082	83,599	78,547	77,503	76,632
	基準年比	2013年	96%	90%	89%	88%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	36,037	35,316	27,152	28,829	28,829
	基準年比	2014年	98%	75%	80%	80%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	123,119	118,915	105,699	106,332	105,461
一般廃棄物の削減	kg	10,320	9,701	9,687	9,391	9,391
	基準年比	2013年	94%	94%	91%	91%
産業廃棄物の削減	kg	1,520	1,474	1,470	1,444	1,414
	基準年比	2014年	97%	97%	95%	93%
水道水の削減	m ³	951	903	957	909	909
	基準年比	2013年	95%	101%	95%	95%
化学物質(基板防水剤)の適正管理	m ³	-	-	-	-	-
	基準年比	2014年	-	○	-	-
グリーン購入の推進			実態把握	実態把握	チェックリストによる購入推進	チェックリストによる購入推進
製品・サービスへの環境配慮(注1)	万円	24,333	27,983	35,370	42,583	51,099
	基準年比	2013年	115%	145%	175%	210%

(注1) LED採用モーターレスの産業用(アミューズメント機器は除く)製品の販売額

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	省エネへの取組みは浸透し、目標を達成した。 本社倉庫の水銀灯照明をLED照明に替え、省エネに貢献。 2016年度は、本社事務所・工場の蛍光管をLED化を検討。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房26℃)	◎	
・不要照明の消灯	◎	
・空調を必要な区域・時間に限定	◎	
・クールビス・ウォームビスの実施	○	
・屋上の遮熱塗装	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	◎	同方向の複数人出張時の同乗等の取組みも功を奏し、ガソリン消費を大幅に削減達成。 2016年度は低燃費車への切替推進及び各員の燃費向上意識の定着を推し進める。
・繰り返し利用できるパレットや通い箱の利用	○	
・社用車の定期点検の実施	◎	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	削減目標値を達成。 リサイクル出来る梱包の活用推進等、廃棄物の低減に引き続き取り組む。
・ゴミの分別の徹底	◎	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・回収した資源ごみのリサイクル確認	◎	
・3S活動の実施	○	
産業廃棄物の削減		
数値目標	○	削減目標値を達成。 工程不良などの廃棄量削減に取り組む。
・加工ロスの削減	○	
・クレーム発生の撲滅	○	
・収集運搬業者・中間処理業者との契約	◎	
化学物質(基板防水剤)の適正管理		
数値目標	-	特に変化は無し。
・コーティング剤(ハヤコート)使用量の適正管理		
水道水の削減		
数値目標	×	委託清掃業務等の充実により水道水の使用が削減目標には達せなかったが、目標値の見直しをしながら節水の取組みを継続する。
・自動水栓取り付け	○	
・手洗い・洗い物の際の節水励行	△	
・ホースの手元バルブ使用	○	
グリーン購入の推進		
・グリーン購入対象品のリスト作成	△	グリーン対象品の絞り込みにまで至っておらず立ち遅れ。
・事務用品グリーン購入比率向上	×	
・コピー紙の再生紙活用	△	
製品・サービスへの環境配慮		
・LED採用/モーターレスという長寿命商品の更なる充実	◎	産業用製品販売比率を大幅に伸長。 販売に貢献できる産業用製品の更なる拡充を継続する。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ等)
浄化槽法	浄化槽設備の定期点検(年1回)
フロン排出抑制法	業務用空調機 20台
家電リサイクル法	家庭用エアコン 2台
NOx・PM法	小型トラック 3台
消防法	消防設備の定期点検(年1回)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反の指摘・訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の本社限定取り組みで2年経過し、環境負荷削減への取り組みは全体としては満足の行く結果が残す事ができました。

2016年度からは、エコアクション21の取り組みを全社展開に拡大し、環境に優しい製品の供給と、会社活動による環境負荷の削減に引き続き努力を続けてまいります。

□環境活動の紹介

環境に優しい、電球もモーターも使用しない当社のエコ商品群をご紹介します

